

1. 要旨

1.1. 試験委託者

環境省

1.2. 表題

Hydrazine monohydrate のオオミジンコに対する繁殖阻害試験

1.3. 試験番号

6146 (017-029)

1.4. 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 211 「オオミジンコ繁殖試験」(1997 年 4 月)に従って実施した。

- 1) 被験物質 : Hydrazine monohydrate
- 2) 暴露方法 : 半止水式 (24 時間毎換水)
- 3) 暴露期間 : 21 日間
- 4) 連 数 : 1 濃度区につき 10 連
- 5) 生物数 : 10 頭/1 濃度区 (1 頭/連)
- 6) 試験濃度 : 0.0268 mg/L, 0.0727 mg/L, 0.151 mg/L, 0.310 mg/L, 0.666 mg/L (実測濃度)
- 7) 試験水量 : 1 容器 (1 連) につき 80 mL
- 8) 試験水温 : 19.7~20.2°C
- 9) 照 明 : 室内光で 16 時間照明 (628~710 Lux) / 8 時間暗
- 10) 餌 : 単細胞緑藻類 (*Chlorella vulgaris*) (藻類培養液を遠心操作により、希釈水に置換して給餌した。)
- 11) 給 餌 量 : ミジンコ 1 頭当たり藻類を 0.15 mgC/日

1.5. 結果

Hydrazine monohydrate のオオミジンコに対する 21 日間の 50%致死濃度 (LC₅₀) は 0.380 mg/L (95%信頼限界: 0.301~0.498 mg/L, 傾き: 8.04), 50%繁殖阻害濃度 (EC₅₀) は 0.206 mg/L (95%信頼限界: 0.190~0.224 mg/L, 傾き: -7.93) であった。また, 21 日間の最大無影響濃度 (NOEC) は 0.0727 mg/L であった。